

日本共産党の2議席実現で ひとりひとりを大切に だれもが住みつづけられる大船渡市を

大震災津波と原発事故から5年という節目を迎えます。

日本共産党は、今年4月におこなわれる大船渡市議会議員選挙で、現職の滝田松男議員と党市委員長の田中英二氏を擁立し、2議席の回復をめざします。

日本共産党の2議席の力とみなさんの力で、くらしの再建と復興、そして戦争法廃止に全力を挙げて取り組む決意です。



田中英二 党市委員長



滝田松男 議員

滝田松男と田中英二の 3つの提案 (第1次)

大震災から5年
被災者のいのちを守り
生活再建を

●被災者のいのちと健康

医療費と介護保険料の免除継続を求めます。

●仮設店舗の使用期限を延長

5年以上に延ばし、移転費解体費の支援を求めます。

●災害公営住宅の暮らし支援

見守り、声かけが大切です。
支援員の配置を進めます。

戦争法＝安保法の廃止

平和を望む市民のみなさんとすべての野党のみなさんとも協力し、力を結集した新しい政府＝連合政府の実現で戦争法の廃止を！

だれもが安心できるまちへ
暮らしと子育て支を

●医療費助成を中学生まで

子ども医療費無料化を、今度は中学生まで広げます。陸前高田や住田などの市町村でも実施されています。病院窓口の支払いもなくします。

●国保税1世帯平均1万円引き下げを

財源 低所得者対策として平成27年度から増額となっている国の交付金(全国1700億円、大船渡市約3千万円)と一般会計からの繰り入れ

●在宅の介護家族へ 月5千円の支援を

介護施設に入所できず、在宅介護で苦勞されている家族への支援として、月額5,000円の家族手当を創設します。

●一般住宅と店舗のリフォーム補助

お風呂やトイレ、店舗の改修費などに20%の補助で、家計や地元業者を応援します。